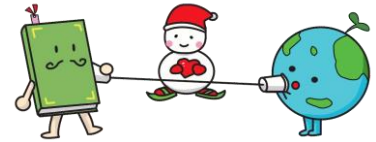


学習課題（小学校４年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

＜学習内容＞

◆「要約するとき」（教科書 86～87 ページ）に取り組めます。

(1) 教科書 86 ページを読み、『要約』とは何か、たしかめましょう。

※教科書 160 ページの「学習に用いる言葉」の【要約】の部分も参考になります。読んでみましょう。

話や文、文章の内容を短くまとめることを、^{ようやく}**要約**といいます。

(2) 「思いやりのデザイン」（教科書 48 ページ）を、お家の人に説明するつもりで、百字程度^{ていど}で要約しましょう。

①「思いやりのデザイン」の中から、『話題をおさえ、くり返し出てくる言葉や、まとまりの中心となる文』を選んで線を引きましょう。

※筆者の考えが【終わり】に書かれていました。【終わり】の中には、中心となる文が書かれていることが多いです。

②「インフォグラフィックス」とは何でしょうか。説明を書いている一文に線を引きましょう。

③ ①②で見付けた文を使い、百字程度^{ていど}にまとめて書いてみましょう。

※教科書 87 ページ「アップとルーズで伝える」の【要約した部分】を参考に見てみましょう。

インフォグラフィックスは、インフォメーションとグラフィックスを合わせた。インフォグラフィックスは見る人の立場に立って作る…。

書き方の例】

◆「カンジーはかせの都道府県の旅 2」（教科書 98 ページ～）で学習する新出漢字（崎～鹿まで）をノートに練習します。（読み方や書き順は 155 ページにのっています。）

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・(2)の『要約』の学習では、伝える相手が「お家の人＝内容を知らない人」ということがポイントになります。「“インフォグラフィックス”という言葉は、初めて読む人は知らないのではないかな？」と、②の文を入れる必要性を伝えてあげるなどの声をかけてあげると、要約する時に何を大切にしたらよいかを考えることができます。

(4年生国語)

名前

10 字×11 行のますです。必要に応じて、(2)の学習にお使いください。
※ノートや取組シートに書いてもかまいません。

[illegible]



【社会】

＜学習内容＞「1学期のまとめ」

◆これまでの学習について、取組シートやノートにまとめよう。

「わたしたちの北海道」

(1) 日本全国の白地図にある①～⑦の都道府県を答えよう。

※むずかしいときは、地図帳116～117 ページを参考にしよう。

(2) 北海道の白地図に、下の①～⑤の地形を書きこもう。

①日高山脈 ②石狩平野 ③十勝川 ④根釧台地 ⑤北見山地

※むずかしいときは、地図帳 69～72 ページを参考にしよう。

「水はどこから」

(1) 下の（ ）にあてはまる言葉を書きこもう。

※むずかしいときは、教科書 56～71 ページを参考にしよう。

- ・雨の量が少ない時も水不足にならないように、（ ）をつくり、水量の調節や水力発電に利用しています。
- ・きれいな水をつくる工場の役目を果たすところを（ ）といいます。
- ・下水しり場では、家庭や工場などで使われた水を（ ）にして（ ）などへ流しています。

(2) 水の流れについてまとめます。教科書 70～71 ページの□のらん、それぞれの働きを書きこんで、図を完成させよう。

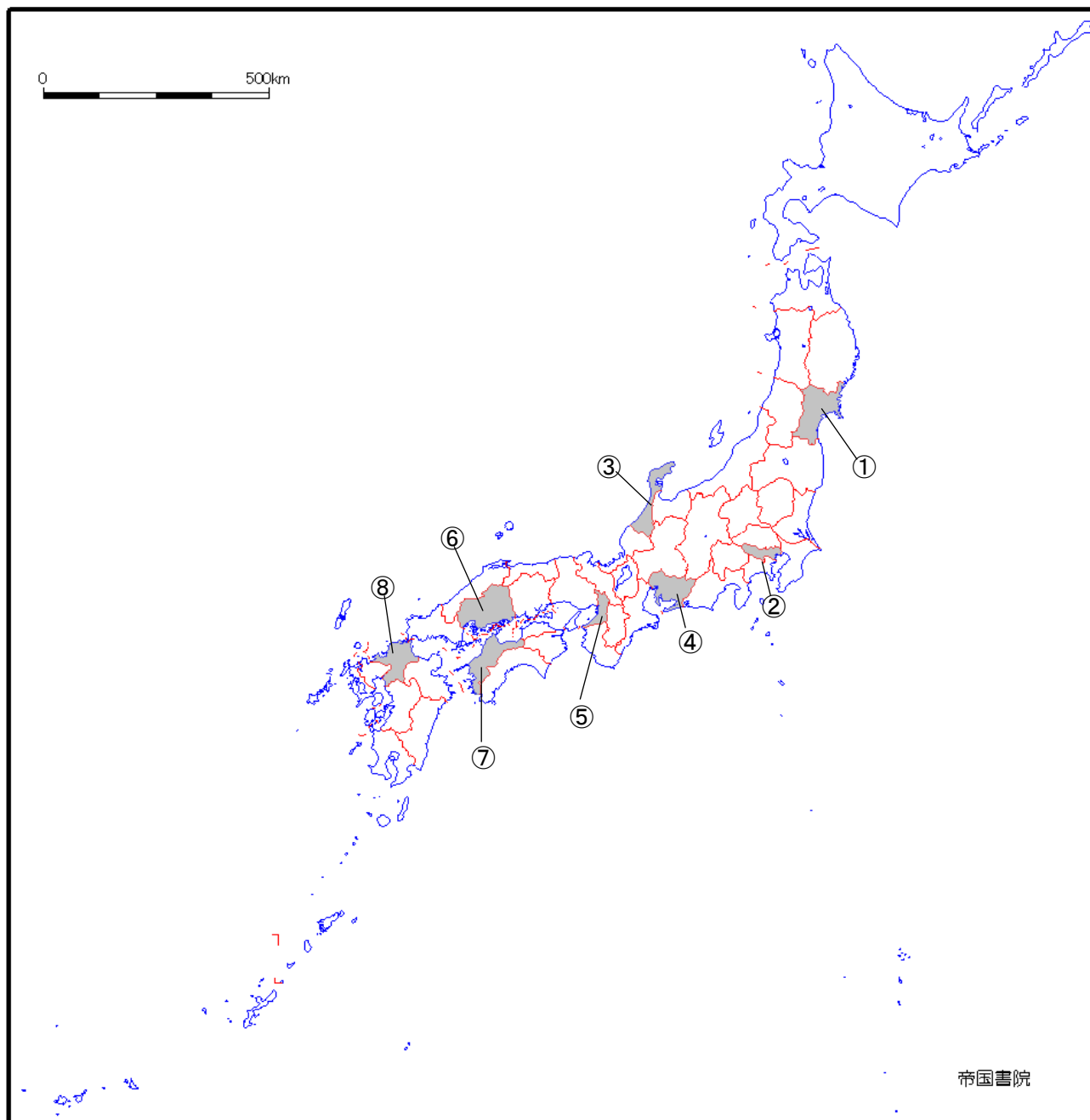
※学習に出てきた「ことば」を使ってみよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・これまでのまとめとして出題しています。一度、学習したことを学び直すことで、確かな力として定着します。普段、学校で学習したことも復習すると効果的です。特に、都道府県の名称や位置は高学年での学習でも出てくるので、しっかりと覚えられるように、繰り返し学習するとよいです。

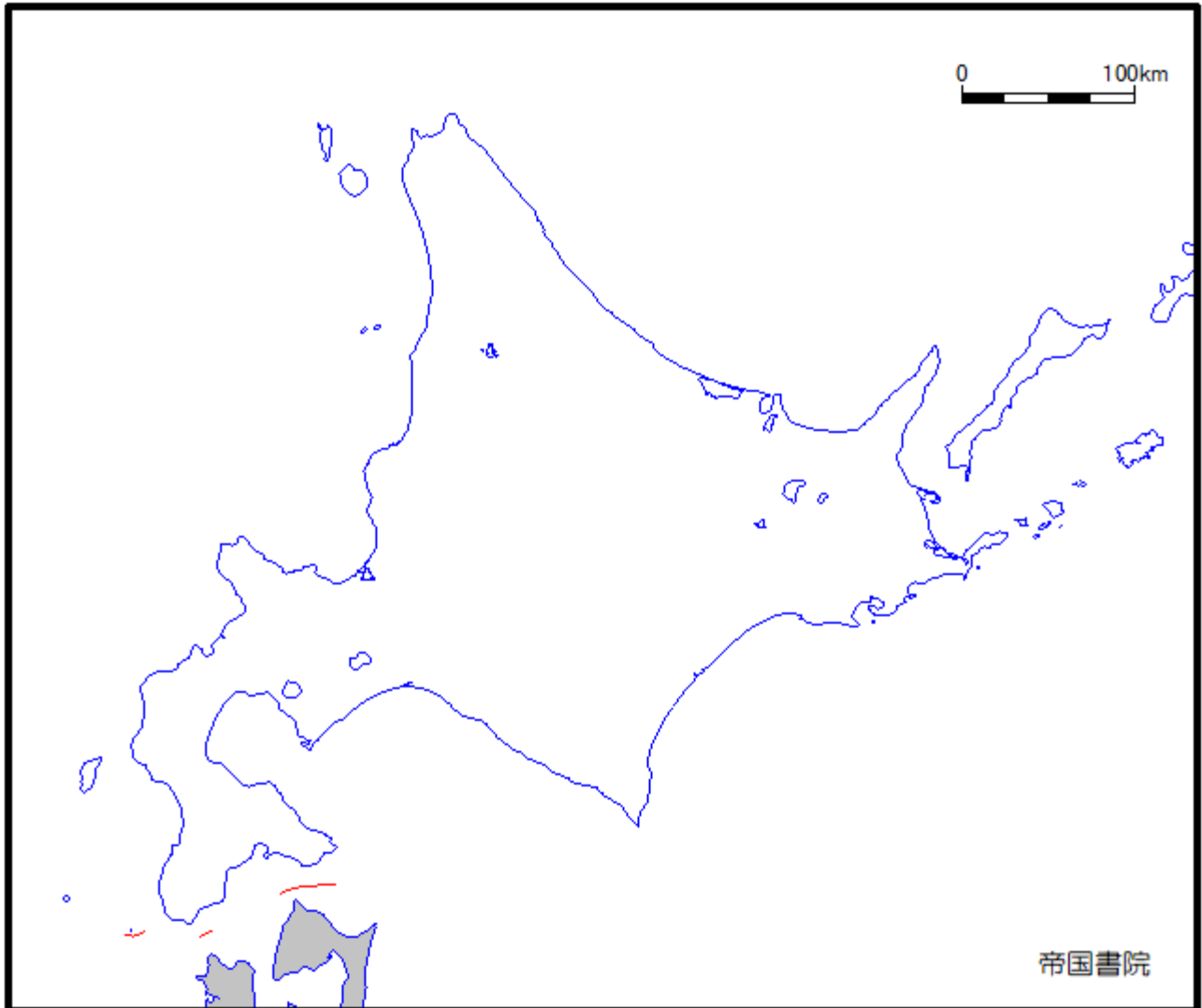
白地図（日本全国）

名前



白地図 ほっかいどうちほう（北海道地方）

名前 _____



【算数】

「※」は学習するときのヒントです。

＜學習內容＞

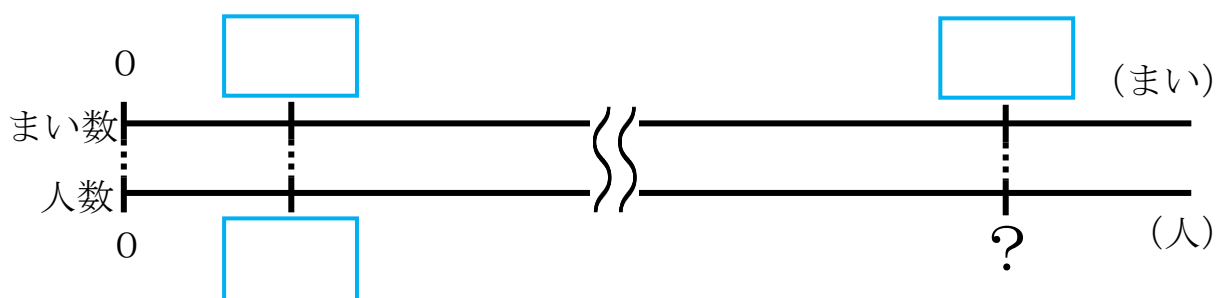
◆「2けたの数のわり算」(教科書 77～78 ページ)

折り紙が85まいあります。1人に21まいずつ配ると、何人に分けられて、何まいあまるでしょうか。

- (1) 下の数直線に、赤ペンで数や矢じるしなどをかきくわえて、どんな式になるか考えましょう。

※図を使うと、考えたり表したりする力が身につくよ。

※教科書 165 ページ「数直線のかき方」を参考にしてみてくださいね。



式



あれ？ わる数とわられる数が何十、何百ではない数だね。
筆算を使って求めることはできないかな。



2けた÷2けたのわり算の筆算は、どうやってやるのかな？

- (2) (1)で立てた式の筆算のしかたを、教科書78ページを参考にして考え、次の四角やマスの中に言葉や数を書き入れましょう。

①

がたつ

を決める。

		×	○
2	1	8	5

十の位に商はたたない。
商は一の位からたつ。

※マスの中に、
(1)の式を当てはめて筆算をつくろう。



②

の

をつける。

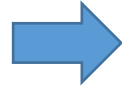
わる数の21を とみて考える

$$85 \div 21 \rightarrow 85 \div$$

4

あまりを求めるところまで筆算でやってみよう！

2	1	)	85



2	1	)	85
			84



2	1	)	85
			84

$$85 \div 21 =$$

答え

- (3) わる数が1けたのわり算の筆算と比べて、筆算のしかたが同じ（にている）ところを考え、下の四角の中に書き表しましょう。

2けた÷
1けたの
筆算を思
い出して
みると…。



3	)	85

- (4) 教科書78ページ 4、5を行い、ノートか取組シートに書きましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆2けたの数のわり算（教科書P77～P78）

- ・筆算の仕方を覚える際には、商の4やあまりの1が何を表しているか考えるよう促し、説明しながら仕組みを振り返ることも有効です。

【理科】

＜学習内容＞

◆「暑くなると」（教科書 71～72 ページ）を見て、暑くなって動物のようすがどのように変わっているのか考えましょう。

①暑くなって、動物のようすがどのように変わっているかを観察することにしました。教科書 72 ページの動物の写真（アゲハ、ナナホシテントウ、カブトムシ、ツバメ、ヒキガエル）から２つをえらんで、観察記録を取組シートやノートにかきましょう。また、ようすが変わった理由についても考えて書きましょう。

※形や色、大きさはどのように変わったかな。

※春のころ（教科書 14 ページ）に生まれた動物はどのように変わったかな。

※教科書 72 ページの観察カードのようにかけるかな。

◆「暑くなると」（教科書 73～75 ページ）を見て、植物や動物のようすと気温との関係を考えましょう。

①暑くなったころの植物や動物の観察記録や教科書 73 ページの気温の変わり方とヘチマのくきののび方のグラフを見て、暑くなると植物や動物のようすはどのように変わったといえるのか考えて、取組シートやノートに書きましょう。

※暑くなると、植物のくきや葉はどのように変わったかな。

※暑くなると、動物の活動やようすはどのように変わったかな。

②植物や動物のようすは、これからどのように変わっていくのか予想し、取組シートやノートに書きましょう。

※これからもっと暑くなるとどうなるかな。

※夏がすぎてすずしくなるとどうなるかな。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、動物の活動や様子が、春の頃と比べて、大きく変化していることに気付き、その理由について考えることを大切にしています。また、気温が高くなると植物や動物の様子が変化することに気付くことを大切にしています。
- ・「春の頃と比べて、暑くなったときの動物はどのように違うかな。」「気温が高くなると植物や動物の様子はどのように変わったかな。」などと、春の頃と夏の頃の動物の様子を比べたり、気温と植物や動物の様子の変化を結び付けて考えたりできるように声をかけてあげてください。

【音楽】パソコンなどで見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう。

＜勉強すること＞

◆ ６拍子を感じながら、『風のメロディー』を歌いましょう。
(教科書 18～19 ページ)

- (1) 『風のメロディー』の歌詞^{かし}を声に出して読みましょう。曲名^{きょくめい}や歌詞の言葉から様子やイメージを思いうかべましょう。

＜ヒント：場所^{ばしょ}はどこかな？そこには何があるかな？など＞

- (2) 思いうかべた様子やイメージを想像^{そうぞう}しながら、『風のメロディー』を聴いたり、口ずさんだりしましょう。



- (3) 教科書 19 ページの「新しくおぼえること」に書いてある「８分の 6 拍子」と「強弱記号^{きょうじやくきごう}」について確認しましょう。

※「強弱記号」は、記号とその意味を覚えましょう。

- (4) ８分の 6 拍子を感じ、手を動かしながら、『風のメロディー』を歌いましょう。

※「手の動き^{どうが}」は、動画^{かくにん}で確認できます。



- (5) 楽譜に書かれている「強弱記号」に気を付けて、『風のメロディー』を歌いましょう。

※例 mp→少し弱く歌う mf→少し強く歌う など

＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・『風のメロディー』は、６拍子の楽曲です。これまで学習してきた２拍子や４拍子の曲との違いをリズムにのりながら、感じ取っていくことを目標にしています。動画の「手の動き」を参考にして、６拍子が合う他の動きも考え、一緒に楽しみながら取り組んでください。
- ・「強弱記号」は、その記号や意味を覚えるだけではなく、実際に歌ってみるなど、音楽を通して理解していくことが大切です。ぜひ、強弱をつけて歌うことで、そのよさを感じられるように声をかけてください。

【図画工作】

＜学習内容＞

◆ つなぐんぐん（教科書３・４年下 26～27 ページ）

ぼうなどのざいりょうをどんどんつないで、つなぎ方や組み合わせ方を工夫しておもしろい形を表そう。

(1) ぼうなどのざいりょうを用意しよう。

※教科書にのっているように、新聞紙やチラシを細くまいて、ぼうをたくさん作ることもできるね。

※ストローやわりばし、竹ひご、えだなどがあれば使おう。

(2) ぼうでどんなつなぎ方や組み合わせ方ができるか、たくさんためしておもしろい形をつくろう。

※モールやビニールタイ、ゴムなどでとめてもいいよ。



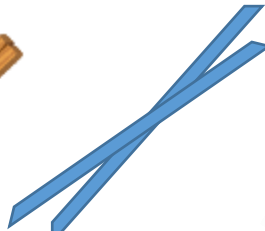
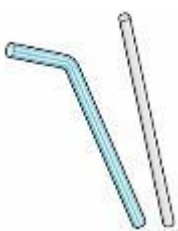
(3) できたらおうちの人に見てもらって、おもしろいと思っているところをつたえてみよう。

※たくさんためして、いろいろな表現を見つけよう。

※ぼうの先などのとがったところは、人に向けないようにしよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、棒状の物で組み合わせ方などを工夫し、試すことで、いろいろな形ができることを楽しむことを大切にしています。具体的な何かの形になっていなくても構いません。
- ・棒（紙で作ったものやストロー、割りばし、竹ひご、枝など）がたくさん（30 本程度かそれ以上）あると、楽しく活動できます。
- ・モールやビニールタイ、ゴムなど、棒を簡単に固定できるものがあると更に活動が広がります。家にある場合は用意してあげてください。



【体育】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめてとく組みましょう。

＜学習内容＞

さんこうどうが
※参考動画

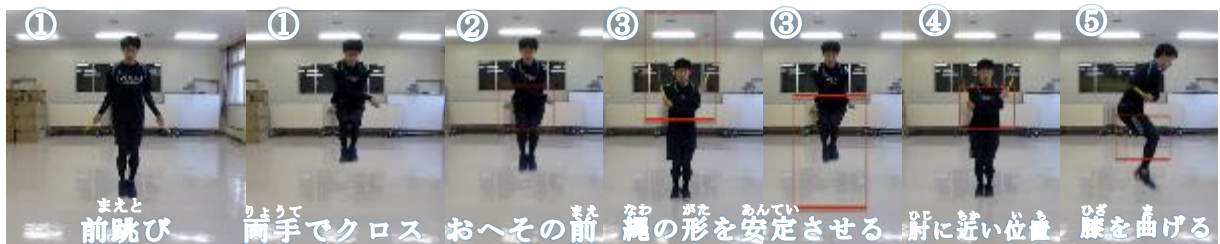
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/nawatobi.html>



◆「なわ跳び」に取り組みましょう。

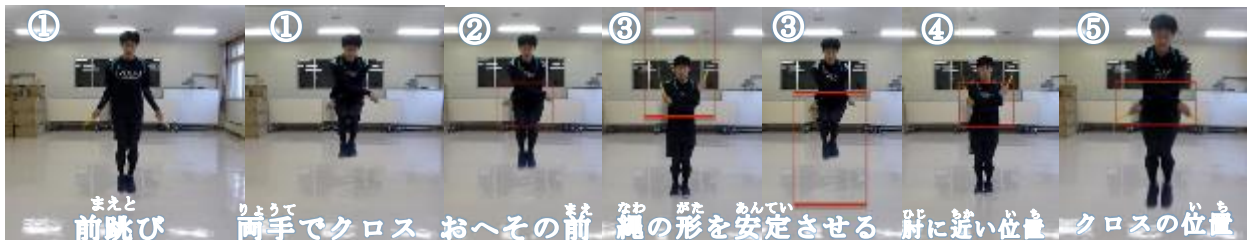
あや跳びや交差跳びに挑戦しましょう。ひとつひとつのステップをクリアすることで、あや跳びや交差跳びができるようになりますよ。

○あや跳びの跳び方



①あやとびは、前跳びを１回跳んだ後に両手でなわをクロスして跳び、これを繰り返す跳び方です。コツは、②なわをおへその前でクロスさせます。③回転しているなわの形が安定すると上手に跳べます。④手首ではなく、肘に近い位置でクロスをつくるとなわの形が安定します。⑤膝を曲げて跳ぶとなわに引っかかりにくくなるので、試してみてください。

○交差跳びの跳び方



①交差とびは、前跳びを何回か跳んだ後に両手なわをクロスして跳び続ける跳び方です。交差跳びのコツは、あや跳びのコツと似ていて、②なわをおへその前でクロスさせます。③回転しているなわの形が安定すると上手に跳べます。④手首ではなく、肘に近い位置でクロスをつくり、しっかりと手首を回します。⑤クロスが位置が高くならないように気を付けます。

◆連続何回跳べたかや 30 秒 で何回跳べたかを数えてみよう。

繰り返し取り組むと上手になってくるので、たくさんチャレンジしてみてください。動画では、あや跳びと交差跳びの発展技を紹介しています。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

・跳んだ回数を数えてあげたり、頑張りを認める声かけをしたりしてください。